（様式２別紙）

（団体名）特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
（事業名）女性と社会をつなぎ多様性のある地域づくりを目指すインターンシップ・スクール事業　**ロジック・モデル**

インプット

- 県の補助金とサポート
- 女性支援のノウハウや実績
- 講師陣 地域女性起業家
- 地域のNPO 企業等のネットワーク
- 託児ボランティア

活動

地域女性が「自分を知る」からはじめるスクールの開催

- A・B）共通講座 スキルアップ、インターンコースの受講生が一緒に「自分らしく生きる」を学ぶ講座
- A）スキルアップコース 自分の事、地域の事、相手の事を知りながら、「自分らしさ」をみつける講座
- B)インターンシップコース 自分に合った働き方を考え、就労にむけて学ぶ講座と、インターンシップ体験

- 受講生、インターン受入先へのアンケート実施
- 託児サービスの提供

アウトプット

スクール参加者のべ３１５名

- A・B）共通講座・講座・振り返り会 参加者のべ210名（7回×30名）
- A) スキルアップコース 講座参加者のべ60名（4回×15名）
- B) インターンシップコース・講座参加者のべ45名（3回×15名）・インターンシップ体験 15名(10~20時間/人）

インターン受入先

- インターンシップ受入のNPOや社会的企業 10団体
- インターン先への就業 5名

- 実施アンケートの結果
- 事業報告書作成 300冊

アウトカム

初期

スクール参加者

- 世代や価値観の違う女性同士のコミュニティの形成により、互いの価値観を認め合えるようになる。
- 講師や地域の女性起業家と知り合える。
- 「自分らしい生き方」を見つけられる女性が増える。
- 地域女性が離職期間中にスキルアップを図ることができ、社会復帰への不安を低減させることができる。
- 有償制のインターンシップにより、より実践的な就労体験につながる。

地域

- ・当事業に関心を持つ、企業団体が増加する。
- ・被災地でまちづくりを行うNPOをはじめ企業の人材不足解消につながる。

中期

地域女性

- ・地域女性達の自信回復と自己肯定感の向上につながる。
- ・病気や学歴、周囲との価値観の違いなどで生きづらさを感じている女性が「自分らしく生きる」方法を知り、生きやすくなる。
- ・自分と違う価値観の相手を認め合えるようになる女性が増える。
- ・地域課題に当事者として関わる女性が増える。

地域

- ・地域課題に取り組むNPOの活動に、地域女性の視点を取り入れるきっかけができる。
- ・インターンへの指導を通じて、NPOや地域企業の人材育成面のスキルアップが期待できる。

- 他地域においても、ワークブック形式の報告書を活用し、その地域の女性をエンパワーメントするきっかけをつくる。

長期

地域及び周辺地域

- ・多様性と包括性のある社会の実現に向けたジェンダー平等の達成につながる。
- ・地域で女性が活躍し、意思決定の場に女性の意見が反映される社会の実現に繋がる。
- ・地域の潜在力である「女性の力」が十分に発揮され、被災地の復興まちづくりと多様な地域社会の実現につながる。
- ・育児や介護、病気療養中でも働きやすい環境づくりが促進され、少子高齢化・人口流出・労働者不足が抑えられる。
- ・労働者が増えることで納税率があがり、地域活性化につながる。
- ・地域の市民活動が盛んになり、市民の主体性が高まる。